

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年6月11日(2025.6.11)

【国際公開番号】WO2022/270536

【出願番号】特願2023-530087(P2023-530087)

【国際特許分類】

C 0 8 G 5 9 / 2 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

C 0 8 G 5 9 / 2 4

10

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月3日(2025.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

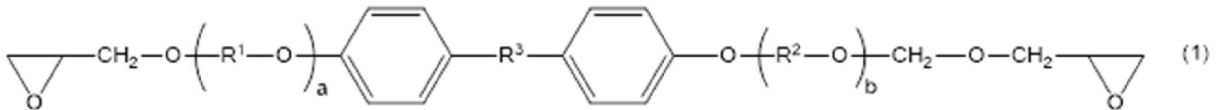
【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

(A) 下記一般式(1)で表されるエポキシ化合物A、(B) 下記一般式(2)で表されるエポキシ化合物B、及び(C) 硬化剤、を含むエポキシ樹脂組成物。

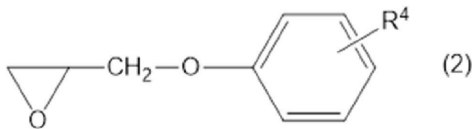
【化1】



一般式(1)において、 $R^1$ 及び $R^2$ は、それぞれ独立して、炭素原子数2~4のアルキレン基を表し、 $R^3$ は、メチレン基又は $-C(CH_3)_2-$ を表し、 $a$ 及び $b$ は、それぞれ独立して、1~10の数を表す。

30

【化2】



一般式(2)において、 $R^4$ は、炭素原子数6~20の炭化水素基を表す。

【請求項2】

(B) 成分がカルダノール型エポキシ化合物である、請求項1に記載のエポキシ樹脂組成物。

40

【請求項3】

(A) 成分と(B) 成分の質量比A/Bが90/10~10/90である、請求項1に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項4】

(C) 成分がアミン系硬化剤及びチオール系硬化剤から選ばれる少なくとも1種である、請求項1に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項5】

全塩素量が2000ppm以下である、請求項1に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項6】

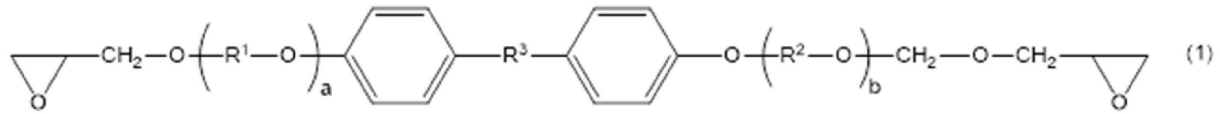
50

請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載のエポキシ樹脂組成物を硬化してなる、硬化物。

【請求項 7】

(A) 下記一般式 (1) で表されるエポキシ化合物 A、(B) 下記一般式 (2) で表されるエポキシ化合物 B、及び (C) 硬化剤、を含む組成物。

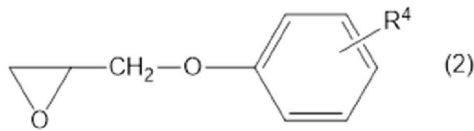
【化 3】



10

一般式 (1) において、 $R^1$  及び  $R^2$  は、それぞれ独立して、炭素原子数 2 ~ 4 のアルキレン基を表し、 $R^3$  は、メチレン基又は  $-C(CH_3)_2-$  を表し、 $a$  及び  $b$  は、それぞれ独立して、1 ~ 10 の数を表す。

【化 4】



一般式 (2) において、 $R^4$  は、炭素原子数 6 ~ 20 の炭化水素基を表す。

20

【請求項 8】

(B) 成分がカルダノール型エポキシ化合物である、請求項 7 に記載の組成物。

30

40

50